

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 024	提案機関名 農業技術センター普及指導部
<b>要望問題名</b> ウィルス検出されない小麦萎縮症状の原因究明	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 県内各地の小麦で麦類萎縮病、コムギ縞萎縮病の発生が確認されているが、同様の症状でウィルスが検出されない事例があり、その原因と対策が求められている。 また、麦は農業共済の対象となっており、損害評価の際にその原因特定が必要である。  相模原市 3地区 30a	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	農業環境研究部・ 野菜作物研究部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可		
<b>試験研究課題名</b> ( 、 、 の場合) 病害虫の診断同定および発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立			
<b>対応の内容等</b>  当該症状が、既に報告のあるムギの病害に該当するものか、あるいは生理障害等の原因によるものかについて、試験研究課題「病害虫の診断同定および発生生態の解明に基づく予察・防除技術の確立」のなかで診断依頼に対応させていただきます。			
解決予定年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内		
備考			